



最近の岐阜県内の経済情勢

令和8年1月29日

東海財務局 岐阜財務事務所

1.岐阜県内の経済情勢（令和8年1月判断）

項目	前回（7年10月判断）	今回（8年1月判断）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある 【令和6年10月判断以来、6期連続で同じ判断】		個人消費は、持ち直している。生産活動は、緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

〔先行き〕

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、今後の物価動向、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

項目	前回（7年10月判断）	今回（8年1月判断）	前回比較
個人消費	持ち直している	持ち直している 【令和5年10月判断以来、10期連続で同じ判断】	
生産活動	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある 【令和6年10月判断以来、6期連続で同じ判断】	
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある 【令和4年10月判断以来、14期連続で同じ判断】	

※8年1月判断は、前回7年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

1.岐阜県内の経済情勢（令和8年1月判断）

【前回との比較（個人消費、生産活動、雇用情勢）】

	前回（7年10月判断）	今回（8年1月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	➡

個人消費	持ち直している	持ち直している	➡
(百貨店・スーパー)	持ち直している。	緩やかに回復しつつある。	➡
(コンビニエンスストア)	緩やかに持ち直しつつある。	緩やかに持ち直しつつある。	➡
(ドラッグストア)	堅調となっている。	堅調となっている。	➡
(ホームセンター)	一進一退の状況にある。	一進一退の状況にある。	➡
(家電)	持ち直している。	持ち直している。	➡
(乗用車)	持ち直しの動きに一服感がみられる。	一進一退の状況にある。	➡

生産活動	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	➡
(汎用機械等)	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。	➡
(輸送機械)	緩やかに回復している。	緩やかに回復している。	➡
(電気機械)	緩やかに回復しつつある。	緩やかに回復しつつある。	➡
(金属製品)	緩やかに回復しつつある。	緩やかに回復しつつある。	➡
(窯業・土石)	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。	➡
(プラスチック)	持ち直しの動きがみられる。	持ち直しの動きがみられる。	➡

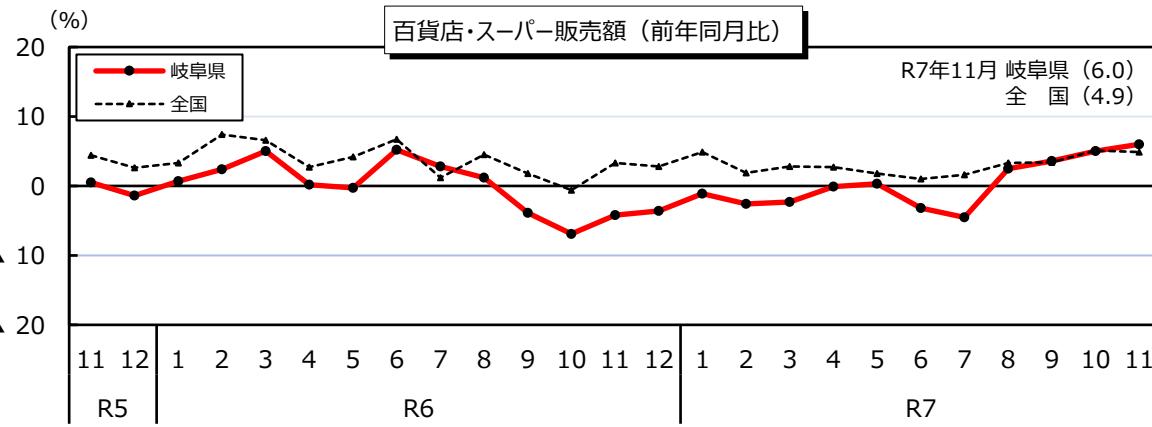
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	➡
(有効求人倍率)	おおむね横ばいで推移している。	おおむね横ばいで推移している。	➡

1.岐阜県内の経済情勢（令和8年1月判断）

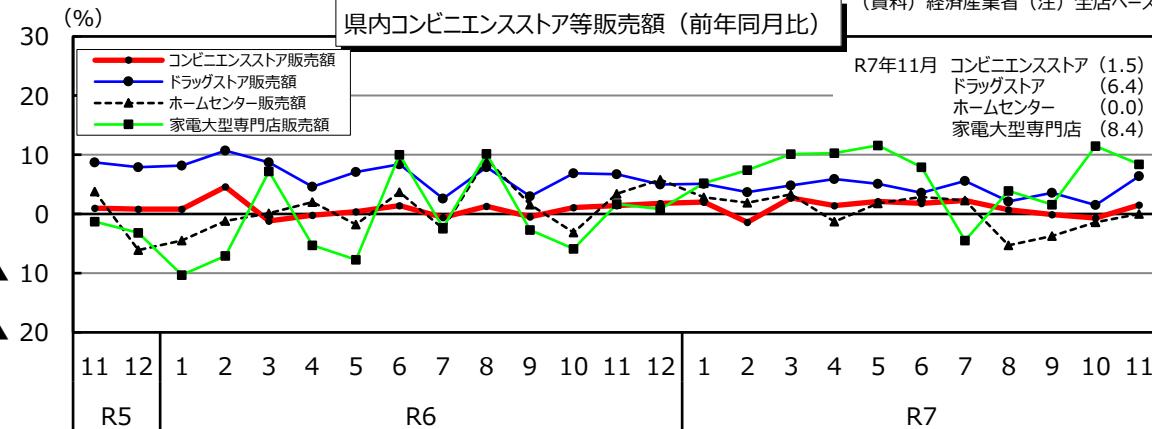
【前回との比較（設備投資、企業収益等）】

	前回（7年10月判断）	今回（8年1月判断）	前回比較
設備投資	7年度は減少見込み	7年度は減少見込み	➡
企業収益	7年度は減益見込み	7年度は減益見込み	➡
企業の景況感	全産業の現状判断（7年7-9月期）は「下降」超	全産業の現状判断（7年10-12月期）は「下降」超	➡
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	➡
公共事業	前年を下回っている	前年を下回っている	➡
企業倒産	件数は前年を上回っている	件数は前年を上回っている	➡

2.個人消費～持ち直している～



- ・百貨店・スーパー販売は、緩やかに回復しつつある。
- ・コンビニエンスストア販売は、緩やかに持ち直しつつある。
- ・ドラッグストア販売は、堅調となっている。
- ・ホームセンター販売は、一進一退の状況にある。
- ・家電大型専門店販売は、持ち直している。
- ・乗用車販売は、一進一退の状況にある。



➤ 節約志向の中でのメリハリ消費を顕著に感じており、割安なPB商品の販売が堅調な一方で、高単価な商品も選ばれる傾向があり、例えば、寿司はより上質の良いものが、肉も外国産よりも国産のものが、それぞれ選ばれている。

【スーパー】

➤ 米は継続的に売れているほか、10月後半から灯油の販売が伸びたものの、今秋の天候不順により園芸用品やレジャー用品に影響が出たことから、全体的に厳しい状況が続いている。

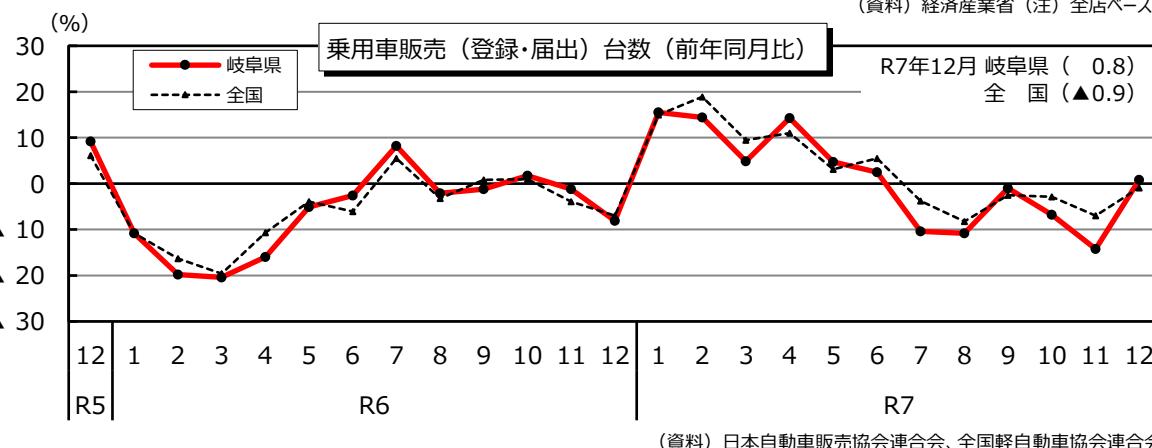
【ホームセンター】

➤ 景況感としては、パソコンの買い替え需要や11月下旬のブラックフライデーの効果により好調。また1人当たりの買い上げ点数は増えており、顧客の買い控えは感じていない。

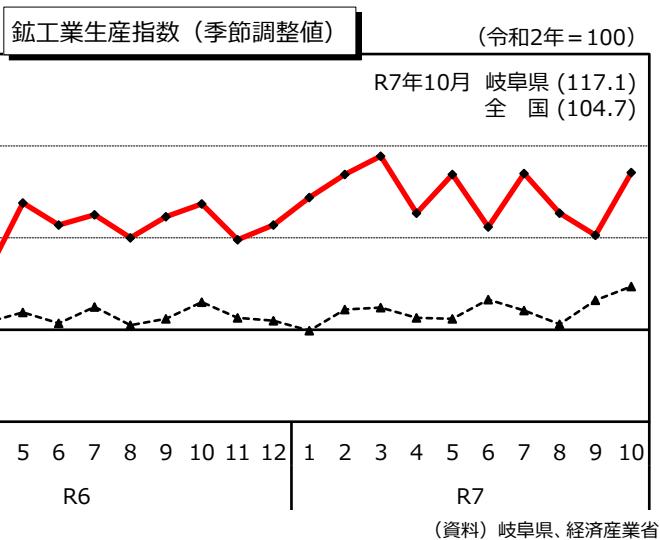
【家電大型専門店】

➤ 直近で投入した新型車に対して、一定の需要はあるものの、思うように受注できておらず厳しい状況。

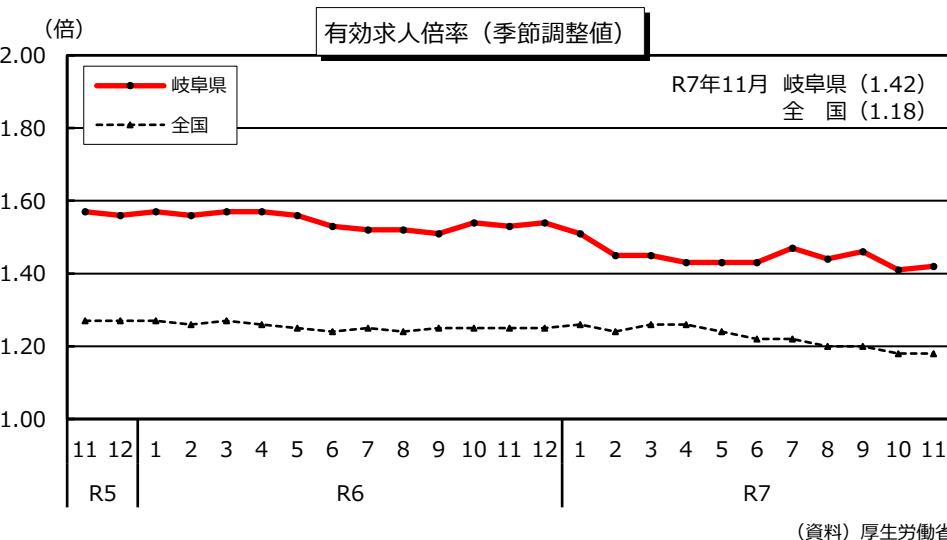
【乗用車販売】



3.生産活動～緩やかに回復しつつある～



4.雇用情勢～緩やかに改善しつつある～



- 汎用・生産用・業務用機械は、弱い動きとなっている。
- 輸送機械は、緩やかに回復している。
- 電気機械は、緩やかに回復しつつある。
- 金属製品は、緩やかに回復しつつある。
- 窯業・土石は、弱い動きとなっている。
- プラスチックは、持ち直しの動きがみられる。

▶ 受注状況としては、全体的にまだ良いとは言えない状況であり、また米国の関税政策の影響により、企業においては設備投資に対して様子見をするなど、控えめなスタンスが見られる。 【汎用機械等】

▶ 主力製品については、海外向けの受注は堅調に推移しており、今後の生産も、現状のフル生産の状況が続く見込み。 【輸送機械】

▶ 半導体需要の高まりから、当社の主力製品に対する需要は堅調であることから、生産も引き続き堅調となっている。 【プラスチック】

- 有効求人倍率は、おおむね横ばいで推移している。

▶ 旅館業や介護職での慢性的な人手不足が続いている、外国人労働者の存在が重要となっている。 【公的機関】

▶ 人的資本経営の推進により、正規・非正規ともに賃金を引き上げたことから、人件費の負担増加が重く圧し掛かっており、この状況が今後も数年間続くことを考えると、抜本的な対策が必要だと考えている。 【小売業】

▶ 人手不足感は常にあるところ。なお、今後も定年退職で自然減となることを見越し、人員補充ができず人員が減少したとしても、同じ生産量を維持できるよう、省人化・合理化への投資を進めているところ。 【製造業】

▶ 省人化のためセルフオーダー方式を導入しているものの、店員を削りすぎると来店客とのコミュニケーションが希薄になるといったデメリットもあるなど、飲食の現場では店舗の人員を無下に削れない面もあり、省人化には限界がある。 【飲食サービス業】

1.本調査結果に関する問い合わせは下記にお願いします。

財務省東海財務局 岐阜財務事務所 財務課

TEL (058)247-4112 (ダイヤルイン)

2.本調査結果の概要は下記ホームページでもご覧頂けます。

<https://lfb.mof.go.jp/tokai/gifu.htm>